【8/27(木)】アスリートから学ぶ人間力 講師名 村田 万先生 1968年福岡県生まれ。 元ラグビー日本代表。 現在、専修大学ラグビー部監督。 経歴 現役時代は、専修大〜東芝府中〜アビロン・バイヨンヌ(仏)〜ヤマハ発動機ジュビロで、スクラムハーフとして活躍。 元7人制ラグビー日本代表監督。 講座内容 「道を切り拓く」〜個の強みがチームとしての成果に〜 先生の「Wata's eye」がとても心に響きました。「自分の強みを生かす」「On-offの切り替えが大事」「負けるが勝ち」 「自分から道をひらく」「最初が肝心」「挫折は自分の成長に」「挑戦、謙虚、感謝」、すべて自分のモットーに当ては まるもので、これからもチャレンジ精神を絶やすことなく思う存分チャレンジしていきたいな、それは間違っていない、 ということを再確認できる講義でした。(関西外国語大学、2年、女性) 村田先生のアスリートとしての経験談をお聞きすることができとても貴重な体験をさせていただきました。言葉が通じな い国で、競技をするということに恐怖は感じさせられませんでした。言葉が通じなければ意思疎通は不可能だという観念 を村田先生は変えてくれました。スポーツの素晴らしさを改めて感じました。(京都外国語大学、2年、女性) 人間力があればストレッチゾーンやパニックゾーンに身をおいても何とかやっていけると思いました。はじめは大変なこ とや苦労することも多いと思うのですが、その状況に屈せず、自分の夢をあきらめないこと、そのために努力を怠らない ことが肝心なのだと思いました。実際に海外に行きプレーし活躍したから分かることを聞けて、とてもよい機会でした。 (神戸市外国語大学、3年、女性) けしてあきらめないこと、また不可能はないこと。あきらめたらそこでおわりということを学びました。語学、スポー ツ、学習は似ていると思っていて、けして、人生においてよいことが起きるわけではありません。村田さんのようなすご い方ででも、試合にでれなかったり、監督と合わなかったり、怪我に苦しんだりという挫折を経験しているからこそ、い 受講生から まがあるんだと思いました。けして失敗しないことではなく、失敗してもいい、ではそこから学ぶことは何かと間がテイ ク事が大切だと感じました。(神田外語大学、4年、男性) の感想 プロのアスリートとして第一線で活躍してきた村田先生の話しを聞いて感じたことはスポーツに対する情熱が並大抵のも のではないなということです。スポーツに真摯に向き合っているからこそスポーツ選手と胸を張っていえるのだと強く感 じました。そのような人を支えるには自分も多くの知識を付けていかなければいけないなと思いました。(長崎外国語大

学、1年、男性)

村田先生の競技生活から現在の監督に至るまでの経験をもとに、講義を聞いて言語が完璧にできなくても徐々にチームに 溶け込んで、かつ活躍することができるということでコミュニケーションが大切な反面それだけではないことも学んだ。 また、外国に行ったらそこの国のルールや慣習を受け入れていかなければならないことも改めて認識できた。専修大の入 れ替え戦の映像を見て、やはりスポーツを通して一つにまとまることの素晴らしさを実感した。(東京外国語大学、2年、 女性)

村田先生の講義は、本当に面白かったです。自分の全盛期だけでなく、挫折期のことも赤裸々にお話ししてくださって、 人間性の良さを感じました。背が低くてレギュラーになれなくてもラグビーを続けたことさえすごいのに、その中で自分 の強みを見つけてそれを活かし、フランスで活躍されたなんて憧れを抱きました。そして、負けたり失敗から学んで次に |進むことは、成功し続ける人より何倍も成長できると教わり、失敗なんて恐れてはいけないし、どんどんいろんなことに チャレンジしてみようと思いました。(名古屋外国語大学、3年、女性)

講義の写真

